

「ランドスケープデザインから考える ー宝塚とまちづくり」

宝塚市立文化芸術センター・庭園のランドスケープデザインを担当した忽那裕樹氏をお招きし、設計のねらいや思いなどをおうかがいします。忽那氏が手がけた他の事例を交え、宝塚のまちづくりにおける文化芸術センター・庭園の役割やこれからの公共空間の使いこなし方等について考えていきます。

講師：忽那裕樹くつな ひろき／ランドスケープデザイナー・株式会社E-DESIGN 代表取締役/ NPO法人Be Creative 副理事長

1966年 大阪府生まれ
1990年 大阪府立大学緑地計画工学講座卒業
2000年 E-DESIGN 設立
公園、広場、道路、河川の景観・環境デザイン、およびその空間の使いこなし、さらには、その持続的マネジメント・しくみづくりを同時に企画・実施するという手法を駆使することによって、新しい公共を実現し、魅力的なパブリックスペースを創出することを目指し、数多くのプロジェクトを手掛けている。また、大学、病院、学校、商業、住宅のランドスケープデザインについては、広く国内外をフィールドに活動中。編著に『図解 パブリックスペースのつくり方』（共著 2021年）。現在、大阪・関西万博のランドスケープデザインディレクターを務めている。



主な作品に、「近畿大学洗心の庭」（2009年 日本造園学会奨励賞）、「水都大阪のまちづくり」（2016年 日本都市計画学会石川賞共同受賞）、「草津川跡地公園（区間5）」（2017年 都市公園等コンクール 特定テーマ部門国土交通大臣賞）、「トコトコダンダン」（2018年 GOOD DESIGN 賞・金賞：経済産業大臣賞／2019年 日本造園学会賞）、「大阪府立江之子島文化芸術創造センター」（2019年 地域創造大賞・総務大臣賞）、「大東市公民連携北条まちづくりプロジェクト morineki」（2024年 建築学会賞共同受賞）、「シーバスパーク」（2024年 都市公園等コンクール 国土交通省都市局長賞／土地活用モデル大賞 国土交通大臣賞）

内容

（1）映像上映「宝塚歌劇と宝塚ファミリーランド」

まちの記憶として約22年前に閉園した宝塚ファミリーランドの貴重な映像をご覧ください

（2）講演「ランドスケープデザインから考える ー宝塚とまちづくり」

講師：忽那裕樹

（3）講演を受けての振り返り 忽那裕樹

聞き手 三戸 俊徳（宝塚市文化財団 事務局次長／宝塚市立文化芸術センター 館長）

日時：令和7年（2025）年5月24日（土）14:00～15:30（13:30 開場）

場所：宝塚文化創造館講堂（〒665-0844 兵庫県宝塚市武庫川町6-12・TEL0797-87-1136）

参加費：無料（要事前申込/定員：80名）

申込方法：申込フォームもしくはFAXでお申込みください。

主催：宝塚市文化団体連絡会・（公財）宝塚市文化財団
お問い合わせ：宝塚市立文化芸術センター TEL0797-62-6800



申込フォーム

【参加申込み】

団体名：

お名前：

TEL：

E-MAIL：

令和7年5月20日（火）までに FAX（0797-62-6880）または申込フォームでお申し込みください。